

# JICA研究所では どんな研究をしているの？

2008年10月にJICA附属の研究機関として設立された「JICA研究所」。  
そこでは、実際にどんな研究が行われているのだろうか。

JICA

に聞きたい!



2008年11月の新JICA発足・  
JICA研究所設立シンポジウム  
で講演を行う恒川恵市所長



JICA研究所の研究者と職員

## PROFILE

大学では総合政策学部在籍、マクロ経済と開発を学ぶ中で、開発途上国問題への関心を高める。1994年JICA入職。カナダ国際開発庁(CIDA)への出向経験を持つ。2007年5月より現職。



畠中道子 JICA研究所リサーチオフィサー

「世界の潮流を見据えた、  
開発課題の研究を進めています」

**A** 従来、JICAの調査研究事業では、どちらかというと、JICA事業に直結する知識・スキルの提供に重きを置きながら、事業に直接役立つ調査研究が進められていました。しかし、昨年10月に国際協力銀行の海外経済協力部門と統合したことを機に、これまでに蓄積してきた援助実施機関としての経験を体系化していくことや、研究機能を強化して政策研究を行っていく必要があるという声が高まりました。そうした考えのもとに設立されたのが、「JICA研究所」です。

現在、研究所には開発援助にかかわるあらゆる分野・地域を専門とする約20人の研究員が所属しています。重点研究領域は、①平和と開発、②成長と貧困削減、③環境と開発／気候変動、④援助戦略の4つ。具体的には、「ASEAN統合と人間の安全保障の主流化」や「気候変動がアジアの大都市に与える影響」「キャパシティ・ディベロップメントアプローチの比較事例分析」など、約30のテーマで研究が進められています。また、外部の援助・研究機関との連携も重視しており、世界銀行、英国開発研究所などの共同研究もあります。

私たちは、「リサーチオフィサー」として、どのような領域で研究を行いたいのかを研究員と考えていくとともに、研究の運営管理の支援、企画、評価、分析などを行っています。

## JICA研究所

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町10-5  
TEL: 03-3269-2911 (代表)  
URL: <http://www.jica.go.jp/jica-ri/>  
1階に、開発援助の専門書やJICA事業の報告書などを所蔵するJICA図書館を併設している。  
開館時間: 10時~18時  
休館日: 土日祝日、年末年始、館内整理日(毎月末日。休館日に当たる場合はその前日)  
URL: <http://libportal.jica.go.jp/library/>

また、研究成果を現場や国内外の人々に分かりやすく、迅速に発信し、情報を共有していくためのメディア整備にも取り組んでいます。4月には研究所のホームページを一新し、研究成果に関する論文や報告書、政策提言を示していく予定です。さらに、研究発表の場として、セミナーやシンポジウムも開催していきます。

こうしている間にも、世界の情勢は刻々と変化しています。研究所が目指しているのは、世界の潮流を見据えた開発課題の研究。2~3年で成果を出すことを目標にしています。

日本の政府開発援助(ODA)をより多くの人に理解してもらえよう、研究者と実務者が連携しながら、研究所の活動を強化していきたいと思っています。